

令和6年度事業計画

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

I. 現状と課題

シルバー人材センターの就業会員の現状になりますが、入会者については、令和3年度の35名をピークに減少傾向が続く一方で、高齢化も進んでいる状況となっています。また、退会者については、令和元年度の34名を境に、その後は緩やかな減少傾向が続いています。

そして、上記の状況と同様に、現会員についても登録している169名の内、80才以上となる会員が20名を超える状況です。

就業班別に見ると、民間就業の中核となっている植木班においては、半数が75歳以上となっている状況である一方で、除草班では80歳以上が半数を超えており、さらに高齢化が深刻な状況となっています。

入会者のみならず会員自身も高齢化が進んでいく状況を見据え、就業体制については、今まで以上に安全・安心を第一に考え、会員が就業しやすい環境の整備を図っていくことが必要となります。

また、高齢者に適した新たな就業先の開拓をはじめとして、女性会員や60歳の会員等の入会を促進するための新たな方策等も急務となっている状況であり、他市町人材センターの改善対策等も検証し、早急に二宮町としての対応可能な方策を考案して実施していくことが求められています。

昨年10月から施行された「インボイス制度」に伴い、人材センターの受注業務に対しても消費税納税義務が課せられることになり、現在、インボイス制度の経過措置（納税額の80%免除）で対応しております。

しかし、この経過措置も6年間で終了し、100%の納税となりますので、全国シルバー人材センターでその対応策を検討した結果、今までの「発注者とシルバー人材センターとの業務委託契約」という形態から新たな仕組みとして、「発注者・シルバー人材センター・会員との三者による包括的な契約関係」という形態に変えることとなります。この対応により、センター自体への消費税の影響は、避けられる状況になります。

今後も、会員の安全・適正な就業をバックアップできるきめ細かな対応を心がけ、利用者の方々に信頼されるセンターを目指し事業運営を進めてまいります。

[ここに入力]

Ⅱ. 事業目標

- | | |
|---------------|------------------|
| (1)新入会員 | 30名(男性20名、女性10名) |
| (2)民間向受注(前年比) | +5% |
| (3)就業率(ピーク時) | 85% |

Ⅲ. 重点実施計画

1. センターの事業基盤強化

(1)会員の確保

- ①センター広報誌「シルバーにのみや」、町広報誌による会員募集
- ②会員による募集活動の推進
- ③近隣シルバーの会員募集方策研究と採用

(2)就業機会の確保

- ①女性会員の適正就業の発掘
- ②発注者の開拓

(3)安全・適正就業の推進

- ①安全・適正就業委員会による就業現場の巡回
- ②各就業班内で安全就業対策の共有化を徹底
- ③熱中症対策等に対する注意喚起
- ④刈払機取扱者講習会に続く新たな講習会等の検討

2. 会員と組織運営の強化

(1)会員のレベルアップ

- ・就業班の研修会・勉強会の実施

(2)リーダー会議等の活性化

- ・就業現場での問題点の検証と改善に向けた意見交換・協議

(3)会員と事務局との情報伝達強化

(4)ボランティア・親睦活動の推進

[ここに入力]